

4月新講座

西洋中世美術

見えるものと見えないもの

講師 名古屋大学大学院教授 木俣 元一

西洋中世のキリスト教美術は、神や天使のような本来目に見えない存在と人間を結びつける役割を果たしていました。美術というヴィジュアルなものを使って、どのようにして目に見えないものを表すのか。見えないものと見えないものとの関係という切り口から中世美術《天使『トリニティ黙示録』より》をとらえ直していきます。



開講日	テーマ
4月16日	はじめに：メディア（媒介物）としての美術
7月16日	キリストの顔
9月17日	三位一体

期間 4～9月（5月、6月、8月休み）

日時 第3金曜日 15:30～17:30

受講料 3ヵ月前納 全3回 6,300円

教材費 3ヵ月前納 945円

開講日が変更となることがありますのでご了承ください。

新入会の方は入会金4,200円が必要です。

お申し込み・お問い合わせは
名古屋市中区栄3の4の5

スカイル10階 TEL052-249-5553



朝日カルチャーセンター | 名古屋
朝日JTB・交流文化塾